

お客さまの為に出来る事

「何か人の為に役立てる仕事がしたい」、これは私自身が銀行員になろうと思った一番の理由です。この純粋な気持ちを反映させられるのが当行の本業支援です。本業支援は単なるサービス提供とは違います。お客さまの数だけ存在するものであり、決して同じものは存在しません。そして、お客さまの想い(悩み・夢)を受け止め、お客さまと共に築き上げていくものだと思います。

本業支援は、仙台銀行との連携により、じもとホールディングスだからこそできるサービスでもあります。お客さまを取巻く環境は更に混沌とする経済情勢の中で、より多くのお客さまの想いを受け止め、想いの実現に向けて共に歩み、被災地の復興に貢献してまいります。



プロフィール

きらやか銀行 弓の町支店

工藤 俊幸 代理

法人兼個人渉外担当

趣味は釣りと観光地巡り。
写真は冬景色ではありませんが、
“津軽海峡”です！

取組み事例

株式会社後藤総合税経様は仙台市内を中心に200先以上の顧客を抱える市内有数の税理士事務所です。同社の「顧問先企業様の発展なくして、当社の発展はあり得ない」という経営理念に共感し、税務で悩んでおられるお客さまを同社に紹介しました。また、同社は業歴の浅い顧客も多く抱えており、同社とともに事業計画の策定や資金繰り管理等を支援することで当行とも新規でお取引を頂いております。



株式会社 後藤総合税経
代表取締役
後藤 俊朗 様

VOICE 喜びの声

弊社は「顧問先企業様の発展なくして、当社の発展はあり得ない」という経営理念のもと、お客さまと共に成長する集団を目指しております。こうした経営理念を実現する為、相続・M&A等にも対応するコンサルティング機能も兼ね備えております。また、独立・創業を目指す顧客の支援も積極的に行っております。

その中できらやか銀行は弊社に対する支援の他、顧問先に対する支援を頂いております。特に新規創業者や創業して間もない顧問先に対して、適切な資金対応を頂いている他、事業計画の策定・経営に対するアドバイスを頂いております。担当の工藤さんは、顧問先の事業内容を十分理解頂き、フットワークが軽く、スピーディーな対応を頂いております。

今後も弊社の経営理念実現に向けて顧問先の発展の為にサポート頂きたいと思っております。

本業支援を通じて津波被災地の農業復興をサポート

仙台市沿岸部の株式会社みちさき様は、東日本大震災の津波で被災した農地に大規模な野菜の水耕栽培を導入し、「農業の復興と変革」を目指すプロジェクトを進めています。

津波被害が甚大であり、農業が復興できるのか不安な面もありましたが、私は、菊地社長と何度も話をする中で、「被災地から日本の農業を変えたい」という熱い想いを受け止め、事業立ち上げを全面的にサポートしてきました。

現在、みちさき様では大型の栽培ハウスが完成して第一歩を歩みだされましたが、真価が問われるのはこれからです。当行も「本業支援」を通じて、様々な経営課題の解決をお手伝いし、被災地の農業復興に貢献していきたいと考えております。

取組み事例

東日本大震災の津波被害を受けた仙台市蒲生地区で、地元農業者が設立した株式会社みちさき様は、野菜類を生産する大規模養液栽培施設の建設を計画。仙台銀行は、日本政策金融公庫との協調融資や三菱商事復興支援財団への出資要請など、同社の事業立ち上げに際して全面的なサポートを行いました。



株式会社 みちさき
代表取締役
菊地 守様

VOICE 喜びの声

東日本大震災により、仙台市蒲生地区では農地に壊滅的な被害を受けました。弊社は、「農業による復興のまちづくりを実践し、10年後、20年後の農業の道先案内人になること」を理念に設立し、大規模な養液栽培施設による野菜等の生産を開始いたしました。この施設では、年間を通じて安定した野菜供給を目指し、特色のある野菜づくりを行っていく計画です。

仙台銀行には、平成23年の事業構想段階からいち早く相談に乗っていただき、また、農業分野への理解度が高く、適切なアドバイスや資金提供を行っていただきました。

今後も地元金融機関として、弊社並びに地域農業の発展に協力していただきたいと願っております。



プロフィール

仙台銀行 南小泉支店
(現 松陵支店)

今野 剛治 次長
渉外担当

休日の過ごし方

地元の少年野球チームのコーチとして子どもたちを指導しています。

